

令和5年度

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書

(令和4年度対象)

八潮市教育委員会

目 次

I	はじめに	P 1
II	点検・評価の基本方針	P 2～
1	趣旨	
2	点検・評価の対象事務事業及び方法	
(1)	点検・評価の対象事務事業	
①	「第2期八潮市教育計画はばたき」と事務事業評価制度の活用	
②	「第2期八潮市教育計画はばたき」に掲げる13の基本目標	
③	点検・評価対象事務事業一覧	
(2)	点検・評価の方法	
(3)	点検・評価シートの構成	
III	点検・評価の結果	P 5～

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされています。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、八潮市教育委員会が行った「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」（以下「点検・評価」という）の結果をまとめたものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等） 第26条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 点検・評価の基本方針

1 趣 旨

八潮市教育委員会では、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検・評価し、学識経験者の意見をいただいた上で、その結果を議会に報告するとともに市民に公表しています。

これにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たすことを目的としています。

2 点検・評価の対象事務事業及び方法

(1) 点検・評価の対象事務事業

① 「第2期八潮市教育計画はばたき」と事務事業評価制度の活用

八潮市教育委員会では、令和4年度から令和7年度を計画期間とする、「第2期八潮市教育計画はばたき」を定めています。

「第2期八潮市教育計画はばたき」は、第5次八潮市総合計画に基づいた計画となっており、13の基本目標を掲げ、主要事業を定めています。八潮市教育委員会における点検・評価の対象事業は、当該主要事業を中心に抽出しました。

また、本市では、毎年度、市長部局において教育委員会の事務事業を含む市全体の事務事業について、事務事業の見直し、職員の意識改革、さらに市民への説明責任を果たすとともに、総合的・計画的・効率的な行政運営を推進し、市民満足度の向上を図るため、事務事業評価を実施しています。

このため、教育委員会における個別の事務事業を点検・評価するに当たり、「事務事業評価シート（対象：令和4年度実施事業）」を活用し、実施しました。

② 「八潮市教育計画はばたき」に掲げる13の基本目標

- 1 確かな学力と自ら学ぶ力の育成
- 2 豊かな心と健やかな体の育成
- 3 情報化社会に対応した教育の推進
- 4 望ましい学校教育環境づくり
- 5 人権を尊重する教育の推進
- 6 夢を抱き次代を創造する青少年の育成
- 7 平和な社会づくり
- 8 郷土愛を育み地域文化を創造する教育の推進
- 9 国際化に対応した教育の推進
- 10 助け合う地域社会づくり
- 11 生涯にわたり楽しく学べる環境づくり
- 12 安全・安心な教育環境づくり
- 13 スポーツ・レクリエーションに親しむ環境づくり

③ 点検・評価対象事務事業一覧

- 1 小学校大規模改修事業（教育総務課）
- 2 家庭教育推進事業（社会教育課）
- 3 地域文化活性化事業（文化財保護課）
- 4 教職員人事管理事業（学務課）
- 5 教育指導推進事業（指導課・小中一貫教育推進室）
- 6 学校ICT教育推進事業（学校ICT推進課）

(2) 点検・評価の方法

対象事業について、事務事業評価シートに基づき点検・評価を行ったうえで、次の学識経験者の意見をいただき、点検・評価報告書を作成しました。

〔学識経験者〕	氏名	選出区分	備考
	會沢 実	学識経験者	大原小学校長
	西村 のり子	学識経験者	元大原中学校PTA会長 埼玉県家庭教育アドバイザー
	佐久間 純子	学識経験者	利用者支援専門員、保育士、 幼稚園教諭

(3) 点検・評価シートの構成

① 大施策

第5次八潮市総合計画第1章「教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にすまち～」に掲げる施策です。

② 基本施策

具体的な事務事業を展開するために必要となる基本的な施策です。

③ 事務事業名

各大施策における、教育委員会の令和4年度の対象事務事業です。

④ 事業目的

事業の目的を明確にするため、具体的に記述しています。

⑤ 事業概要・実施状況

教育委員会の主な事務事業の内容について、簡潔に記述しています。

⑥ 成果指標名・目標・実績

事業の達成度を把握する必要から、令和4年度の対象事務事業の成果指標名・目標・実績について、できるだけ客観的に評価ができるよう数値化したものを記述しています。

⑦ 成果

令和4年度における実績を踏まえ、成果について記述しています。

⑧ 自己評価

実績及び成果等を勘案するとともに、各所属長の意見も踏まえて、次の3段階で自己評価するとともに、判断理由を記述しています。

〔評価基準〕

順調……………最終目標達成に向け、順調に成果があがっている
概ね順調…最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調
難しい…………このままでは、最終目標の達成が難しい

⑨ 学識経験者の評価・意見

各事業の成果や自己評価に対して学識経験者から出された評価・意見、助言等について、「学識経験者の評価・意見」として記述しています。

⑩ 学識経験者の評価・意見に対する対応・検討状況

学識経験者からの評価・意見ごとに、対応・検討状況をそれぞれ記述しています。

Ⅲ 点検・評価の結果

大施策	次代を担う人づくり			
基本施策	教育環境の充実			
事務事業名	小学校大規模改修事業			
事業目的	老朽化した教育施設の改善を図るため、八潮市学校施設長寿命化計画に基づき大規模改修工事を行い、児童の安全を確保し、教育環境の充実を図る。			
事業概要	八潮市学校施設長寿命化計画の改修優先順位に基づき、学校施設の大規模改修工事等を実施する。			
事業の実施状況	八條小学校の大規模改修工事を実施した。			
成果指標名		単位	目標	実績
1	大規模改修実施設計	件	0	0
2	大規模改修工事	件	1	1
成果	<p>八條小学校の管理特別教室棟については、経年による建物の損耗、機能低下が建物内外において発生していたことから、建物全体を改修し、安全性の向上と合わせて教育環境の改善を図った。</p> <p>○主な改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの全面改修(洋式化、LED化等) ・屋上及びベランダの防水改修 ・外壁の塗り替え ・内部の天井及び床、壁の張替え(塗り替え) など 			
自己評価	順調	判断理由	八潮市学校施設長寿命化計画に基づき、計画どおり八條小学校管理特別教室棟の大規模改修工事を実施したことから、順調と判断した。	

評価委員の所見への今後の対応状況

令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価における学識経験者からいただいたご意見に対する今後の対応状況については、以下のとおりです。

【小学校大規模改修事業】

評価・意見	対応・検討状況
<p>・八潮市学校施設長寿命化計画の改修優先順位に基づき、八條小学校管理特別教室棟の大規模改修工事を実施し、活動指標、成果指標ともに目標を達成したことを高く評価する。</p> <p>・八條小学校管理特別教室棟の大規模改修工事は、屋上、外壁、7教室、トイレが美しく整備された。特に、屋上の安全面に配慮したメッシュフェンスの新設、7教室の照明器具のLED化、男女トイレの洋式化等、機能性が高く、安全で快適な学校施設へと変容した。今後は、「予防保全」型の計画的な維持管理により、施設の長寿命化を図り、施設設備に係る財政負担の軽減及び平準化を目指していただきたい。</p> <p>・公平性の評価「やや偏りがある」の理由については、諸般の事情により、市内小中学校全てを公平(同時期)に実施できないという現実から妥当であると考えられる。</p> <p>・今後、令和8年度開校予定の新設小学校に係る財政負担は大きい。しかし、学校施設の中長期的な維持管理・更新に係る財政負担の平準化を図りながら、計画外の改修等が発生した場合は、学校施設の目指すべき姿「安全で快適な学校施設」の実現に向けて優先的に進めていただけることを期待する。</p> <p>・学校施設の老朽化が進み大規模改修工事が必要になるのであれば、今後想定される風水害や地震などの被害に備え、補強工事は随時、計画的且つ迅速に実施していただきたい。</p> <p>・少子化による児童生徒数の減少により、改修工事を行っても将来的に空き教室になる可能性がある。その場合の利用方法等についても検討していただきたい。</p> <p>・改修には多額の費用が発生するが、予算にも限度があるので、他の必要な事業が後回しにならないよう計画的に進めていただきたい。</p>	<p>・今後も、八潮市学校施設長寿命化計画の改修優先順位に基づき、必要な時期を見定めながら、学校施設の改修を実施してまいります。</p> <p>・今後は、予防保全型の計画的な維持管理により施設の長寿命化を図り、施設設備に係る財政負担の軽減及び平準化を目指してまいります。</p> <p>・市内学校施設の改修については、全てを同時期に実施することが困難であることから、各施設の建築年数や劣化状況と併せて、市の財政負担なども考慮しながら、優先順位をつけて適切な時期に実施してまいります。</p> <p>・新設小学校整備において大きな財政的負担が見込まれますが、安全で快適な学校施設の整備に必要な修繕や工事については、財政負担の平準化等を勘案しながら、随時実施してまいります。</p> <p>・学校施設については、耐震補強工事は完了しておりますが、依然として経年による老朽化への対策が課題となっていることから、必要な時期に改修工事を実施してまいります。</p> <p>・市内の児童生徒数の増減は、地域によって差異があることから、学校適正配置指針・計画に基づく適正な施設規模を踏まえるとともに、学校現場の実情を踏まえながら余裕教室の利用方法について検討してまいります。</p> <p>・施設の改修には多額の費用負担が生じることから、財政負担の軽減及び平準化を考慮しながら、必要な改修を行うよう計画的に進めてまいります。</p>

Ⅲ 点検・評価の結果

大施策	社会の要請に応えた教育の環境づくり			
基本施策	家庭における教育の充実			
事務事業名	家庭教育推進事業			
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人間形成の基礎を培う重要な時期である小中学生の保護者を対象に、家庭教育や子育てに関する講演会などを開催する。 ・小中学生を対象とした親になるための学習を開催する。 			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級を、市内全小中学校およびPTAと連携して、保護者主導のもとで実施する。 ・小中学校のPTA活動を支援する。 ・家庭教育の普及啓発の講演会を開催する。 ・小中学生を対象とした親になるための学習を開催する。 			
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級では、コロナ対策を講じた上で市内小中学校で家庭教育に関する講座を開催した。 ・「親の学習」講座では、コロナ対策を講じた上で、保護者を対象にすこやか子育て講座として親のための学習を、また、小中学生を対象に親になるための学習として「いのちの授業」及び「いのちのおはなし」を実施した。 ・八潮市PTA連合会に補助金を交付した。 			
成果指標名		単位	目標	実績
1	家庭教育学級1回あたりの参加者数	人	20	11.6
2	いのちの授業等実施回数	回	25	25
成果	<p>小学校5校でいのちのおはなしを開催し、児童332人と保護者118人が参加、全中学校で3年生を対象にいのちの授業を開催し、生徒595人が参加した。 小中学校11校ですこやか子育て講座を開催し、児童生徒513人が参加、家庭教育学級は39講座を開催し、410人が参加した。</p>			
自己評価	概ね順調	判断理由	<p>家庭教育学級は、市内小中学校のPTAの協力のもと、計画づくりから市民が参画しており、本市が進める市民協働の見地からも概ね順調といえる。 また、すこやか子育て講座を小中学校11校で実施することができた。</p>	

評価委員の所見への今後の対応状況

令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価における学識経験者からいただいたご意見に対する今後の対応状況については、以下のとおりです。

【家庭教育推進事業】

評価・意見	対応・検討状況
<p>・教育の原点は家庭教育であるという理念のもと、市内小中学校及びPTAと連携して、保護者主導による家庭教育学級が実施できた。新型コロナウイルス感染症への不安が取れないとして市内15校中4校は実施を見送ったが、3年ぶりに合同講演会を開催する等、徐々にコロナ前の事業に戻りつつある。計画づくりから市民が参画しており、市民協働の見地から高く評価できる。</p> <p>・昨今の八潮市はPTAが任意団体であることの認知度が高まり、PTAの運営方法や保護者の意識が変容している。各校の実情に応じて「やりやすいように行う」を基本に、家庭教育の重要性を市内小中学校及びPTAに働きかけ、参加者数を増やし、子どもたちのよりよき成長の糧となるよう家庭教育学級が実現できることを期待する。</p> <p>・「親の学習」は、市内在住の家庭教育アドバイザーの資質向上と活用を図りながら、後継者発掘のための働きかけが必要である。</p> <p>・小中学生対象の「親になるための学習」として「いのちのおはなし」及び「いのちの授業」は計画通り実施できた。児童生徒の感想から、いのちの大切さを実感できた児童生徒が多く、八潮市の子供たちにとって大変意義深い講座であることを高く評価する。講師の予定と都合もあるだろうが、小学校5校を固定せず、ローテーションする等、全校で実施できる方法を検討していただきたい。</p> <p>・家庭教育学級もコロナ対策をしながらの開催の為か、参加人数が少ないのは残念である。保護者や子どもたちにとって大事なことを考える時期なので、参加者が増えるような方法を検討していただきたい。</p> <p>・市内在住の家庭教育アドバイザーは10名程度で、新規の資格取得希望者も少ないため、市教委主導のもと家庭教育アドバイザー育成計画を作るなどして、成り手の確保に努める必要がある。</p> <p>・「いのちの講座」を継続的に開催できていることは評価できる。市内全校又は市内の学校に通っていない子どもにも講座を聞ける機会を作っていただきたい。</p> <p>・親の学習について、平日日中の開催は仕事をしている人が多いため、参加できる人が限られてしまう。自分の都合に合わせて参加できるよう配信等も検討していただきたい。</p>	<p>・家庭教育は全ての教育の出発点として大きな役割を担っているものと考えており、今後も引き続き保護者が学習できる場の提供に努めてまいります。</p> <p>・PTAの運営方法が変化している中でも、引き続き家庭教育の重要性を伝えるため、親としての学びの場や機会を学校やPTAと連携しながら提供し、参加者が増えるよう努めてまいります。</p> <p>・今後も引き続き、家庭教育アドバイザーの奨励の向上とその確保に努めてまいります。</p> <p>・親になるための学習として、小学校5校、中学校全校を対象とし、誰もがかけがえのない尊い命で、家族の宝物であることを伝えながら思いやりや自尊感情を育む機会となっており、小学校でも全校で実施出来るよう講師と調整を行ってまいります。</p> <p>・講座の実施にあたっては、例えば就学時健診や入学説明会、授業参観日等の保護者が集まる機会を捉えて実施するなど、様々な方法を検討してまいります。</p> <p>・計画的に家庭教育アドバイザーの確保に努めているところであり、今後も引き続き取り組みを進めてまいります。</p> <p>・年齢に応じた命の尊さを学ぶこと、自分がここにいる意義について、改めて実感し理解を深める機会となっており、今後も引き続きいのちのおはなし、いのちの授業に取り組んでまいります。</p> <p>・講師のスケジュールや会場が整えば土日や夜間に開催することは可能であると考えておりますが、配信等に関しては、配信するための機材等を整備する必要があるため、今後調査研究に努めてまいります。</p>

Ⅲ 点検・評価の結果

大施策	個性あふれる豊かな市民文化づくり			
基本施策	文化活動の推進			
事務事業名	地域文化活性化事業			
事業目的	様々な年代を対象にした学習機会を提供することで、地域理解の広がり和本市で培われてきた生活文化の継承を促す。また、事業をきっかけとして、市民や地域の文化活動が活性化することを旨とする。			
事業概要	幅広い年齢層を対象に、地域の伝統工芸技術や年中行事、生活文化をテーマとした体験学習方式の講座を実施する。また、学校社会科授業の支援を目的とした資料活用事業を行う。			
事業の実施状況	資料館古民家等を会場として、体験講座を10回開催した。地域の伝統技術や年中行事、生活文化をテーマとした講座内容とし、本市の歴史文化を学ぶ機会の提供と地域理解の浸透を図った。			
成果指標名		単位	目標	実績
1	講座参加者数	人	200	210
2				
成果	活動指標・成果指標ともに目標値を達成した。事業目的である「市民や地域の文化活動の活性化」を実現するため、資料館を活動拠点とする文化団体を講座講師として起用する等、市民が活躍する機会の提供も進めており、最終目標の達成は十分可能と考えている。			
自己評価	順調	判断理由	令和3年度はコロナ禍により事業縮小を余儀なくされたが、4年度は計画通りの事業規模に復し、活動指標・成果指標ともに目標を達成している。また、事業目的である「市民や地域の文化活動の活性化」を実現するため、資料館を活動拠点とする文化団体を講座講師として起用する等、市民が活躍する機会の提供も進めており、最終目標の達成は十分可能と考えている。	

評価委員の所見への今後の対応状況

令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価における学識経験者からいただいたご意見に対する今後の対応状況については、以下のとおりです。

【地域文化活性化事業】

評価・意見	対応・検討状況
<p>・資料館古民家等を会場として、体験講座を計画通りの事業規模に復し、10回開催できた。活動指標・成果指標ともに目標を達成したことは高く評価できる。</p> <p>・講座内容は、地域の伝統技術や年中行事、生活文化をテーマとし、八潮市の歴史文化を学ぶ機会の提供と地域理解の浸透が図れた。特に、夏休み期間中に開催した「勾玉づくり」「昔の遊びツアー」は好評であった。「はんこづくり」は参加者定員数に達しなかったため、工夫改善が必要である。</p> <p>・チラシ配布やSNSを活用した情報発信等で参加者の募集を行ったが、配付場所の見直し等、広く市民に周知したい。また、講座の楽しさや参加者への誠意ある対応等でリピーターを増やすことも講座の充実に繋がると考える。</p> <p>・講座の開催にあたり、淑徳大学の学生ボランティアや資料館を活動拠点とする市民サークル団体を講師として起用する等、市民が活躍する機会の提供を進めており、事業目的である「市民・地域の文化活動の活性化」の実現に迫ることができた。今後も市民ボランティアと協働して事業を活性化していただくことを期待する。</p> <p>・体験講座の地域の伝統工芸技術や年中行事も興味深いイベント内容になっている。リピーターも多くいるようなので今後も継続して様々な講座を行っていただきたい。</p> <p>・学校社会科での本市の歴史文化を学ぶ機会の提供で、昔の暮らし体験学習や出張事業などに児童生徒や中学校社会科教員も参加出来るようにし、全体に浸透していくと良いと思う。</p> <p>・SNSのフォロワー数が少ない点について、情報や活動以外で、市民が興味のあるものを配信するなど、フォロワー数の増加に取り組むと良いと思う。</p> <p>・資料館や市内古民家等を会場として、数多くの歴史に関するイベントや体験会を開かれたことは、様々な角度から八潮の歴史を学ぶことができるとも良い取り組みだと思う。</p> <p>・SNS等でも周知しているとのことだが、開催を知らない人もまだまだ多いように思う。また、人口比率から考えると駅前での出張展示や子ども向けの出張講座等も視野に入れると、より事業が活性化すると思う。</p>	<p>・事業の効果をさらに高めるためにも、目標値達成を維持できるよう努めてまいります。</p> <p>・参加者アンケートに寄せられた意見や感想を参考に、事業目的に則し且つ市民の方々に関心を抱いていただけるような講座メニューの提供に努めてまいります。</p> <p>・ポスター・チラシ等の事業周知にあたっては、配布先や周知方法について再度検討を図ります。また、講座内容については、参加者アンケートの意見感想を参考に随時改善を図り、内容充実に努めてまいります。</p> <p>・市民目線に立った事業を企画する上でも、市民と協働の実施体制は有効と考えておりますので、今後も継続して取り組んでまいります。</p> <p>・講座内容の更なる充実に図るとともに、地域の生活文化に根ざした新たな講座メニューの発掘に努めてまいります。</p> <p>・学校との連携は、今後ますます重要になると考えております。事業の実施方法について、従来の形に固執することなく、新たな手法も検討してまいります。</p> <p>・これまでもイベント情報だけでなく、歴史クイズなどの記事を掲載してまいりました。今後につきましても、内容に工夫を凝らし利用者の増加を目指してまいります。</p> <p>・体験講座は、参加しやすく、また楽しく学べる講座と考えています。今後も継続し利用者の拡大を図ってまいります。</p> <p>・資料館は、市の西端に位置しており、地理的に利用しづらい面もあります。ご提案の件につきましては、今後調査研究してまいります。</p>

Ⅲ 点検・評価の結果

大施策	次代を担う人づくり			
基本施策	指導体制の充実			
事務事業名	教職員人事管理事業			
事業目的	市内学校間及び他市町教育委員会管内との適切な人事異動を実践し、市内各小・中学校の人的環境を整備し学校運営の充実を図る。			
事業概要	市内小、中学校の教職員(本採用及び臨時採用)の人事及び他市町教育委員会と人事交流に関する事務を行う。			
事業の実施状況	市内小・中学校の教職員(本採用及び臨時採用)の人事及び他市町教育委員会と人事交流に関する事務を行った。 市費対応で臨時職員(教員)を任用した。			
成果指標名		単位	目標	実績
1	臨時職員の任用数	人	20	17
2				
成 果	<p>市内小・中学校の教職員(本採用及び臨時採用)の人事及び他市町教育委員会と人事交流に関する事務を適切に行った。また、市費対応で臨時職員(教員)を任用し、産休・育休等の補充を行った。</p> <p>引き続き、市内各小・中学校の人的環境の整備及び学校運営の充実を図るため、市内小・中学校の教職員人事及び他市町教育委員会と人事交流に関する事務を行っていく。</p>			
自己評価	順調	判断理由	<p>埼玉県人事異動方針にのっとり、適正な人事異動を行った。また、他市町との人事異動交流を行うことにより、学校現場の活性化につながった。欠員補充などの臨時的任用教職員についても、的確に任用を行い、学校現場に混乱が生じないように適切に処理を行った。</p>	

評価委員の所見への今後の対応状況

令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価における学識経験者からいただいたご意見に対する今後の対応状況については、以下のとおりです。

【教職員人事管理事業】

評価・意見	対応・検討状況
<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県人事異動方針に則り、適正な人事異動を行った。また、他市町との人事異動交流を行うことにより、学校現場の活性化に繋がった。成果指標の目標も達成できたことを高く評価する。 ・学校職員が病気休暇等で急な欠員が発生した場合、臨時的任用教員が不足しているため、適任者を探すことは困難だが、近隣市町教育委員会との情報交換やたくさんの大学への情報提供依頼等、欠員補充のための努力を惜しまない取組には敬意を表する。 ・欠員補充は数ではなく、適任者であるかどうかである。経験値・スキル度・子どもへの教育愛等、八潮の子どもたちをよりよく育てる気概のある教員を採用できることを期待する。また、教員の働き方改革を推進することで、「健康で元気に教壇に立てる教師」を育成していただきたい。 ・若い教員や精神疾患を患う教員も多いと報道でもあるが、他市町との人事異動交流により学校現場の活性化に繋がった点は良かったと思う。 ・先生方に負担がかからないよう、1年目の先生をなるべく副担任に配置したり、他市と比べると欠員も少ないことは評価できる。 ・育児休業給付金を最長2年まで確実に取得できるよう手続きのお知らせ等を行い、今後も育休・産休が取り易い環境作りに尽力していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や他市町との連携を密にし、埼玉県人事異動方針に則り適正な人事異動を行うとともに、他市町との人事異動交流を行うことにより、学校現場の活性化に繋げてまいります。 ・昨今の教員不足により、急な欠員が生じた場合の適任者を探すことは困難ではありますが、積極的に近隣市町教育委員会との情報交換及び各大学への情報提供依頼等に努め、教員の確保に向けて取り組んでまいります。 ・気概のある教員を任用できるよう、面接等において、経験やスキルを見極め、適任者を発掘・育成してまいります。また、教員の働き方改革をより一層推進し、「健康で元気に教壇に立てる教師」を育成してまいります。 ・若手教職員を組織的に育成するとともに、精神疾患を患う教職員を出さないよう、学校現場を活性化させる人事異動を進めてまいります。 ・各校の管理職が、経験の浅い教職員の置かれている状況や抱えている悩みを理解し、組織的に育成できるよう、学校との連携を密にして人材育成を進めてまいります。 ・毎年、「育児・介護の支援ガイドブック」を配付して各種手続きについて周知するなど、育休や産休、介護休暇等が取得しやすい環境作りに尽力してまいります。

Ⅲ 点検・評価の結果

大施策	次代を担う人づくり			
基本施策	教育内容の充実			
事務事業名	教育指導推進事業			
事業目的	一人一人に応じたきめ細かな学習指導や生徒指導を実施することにより、学力向上や児童生徒の「生きる力」を育む。キャリア教育、八潮こども夢大学、海外派遣、八潮こども防災マイスターなどの事業を通して、学習の楽しさを体験し、夢や目標をもって将来を切り拓く子供たちを育成する。いじめの授業などを通して、いじめ解消率100%を目指す。			
事業概要	人権文集の作成、八潮こども夢大学や八潮こども防災マイスターの実施、いじめゼロ条例(通称)の周知及びいじめ防止の授業の実施、学習塾との連携事業の実施、中学生社会体験チャレンジの実施、中学生海外派遣事業の実施、キャリア教育に伴うキャリア・パスポートの活用を行う。			
事業の実施状況	人権教育について、全教職員対象の研修会や人権文集「いちよう」を発行し、教職員と児童生徒の人権意識の向上を図った。携帯・ネット利用ルールについて、児童生徒が自ら考える取組を実施し、ネット問題についての課題改善に努めた。学習塾との連携事業では、参加人数を増やし、各校開催で国語・算数の内容で8回の授業を行い、学力の向上を図った。八潮こども夢大学及び八潮こども防災マイスター育成事業を実施した。昨年度に作成したキャリアパスポートを各学校で実施し、小中一貫教育としてのキャリア教育を推進した。			
成果指標名		単位	目標	実績
1	全国学力学習状況調査の平均正答率の全国との差	ポイント	小+2.0,中+1.0	小-1.9,中-4.2
2				
成果	<p>人権教育に係る教職員研修のオンライン実施や、人権文集「いちよう」の発行等により、人権意識の向上を図った。NPOへの業務委託により、八潮こども夢大学を実施した。4大学の協力を得て、全5回の日程で実施し、児童生徒11人が参加した。八潮こども防災マイスター育成プロジェクトを国士舘大学にて実施し、17人の児童生徒が参加した。小学5年生を対象に、各小学校を会場として学習塾との連携事業を実施した。国語・算数の2教科について、8日間の日程で実施し、287人の児童が参加した。</p> <p>社会体験チャレンジ事業(職場体験)については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったが、各学校においては、キャリア教育に係る体験学習を実施するなど、キャリア教育の充実を図った。中学生海外派遣については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。</p> <p>成果指標については目標達成には至らなかったが、これまで中止となっていた事業を復活し、感染防止対策を講じながら概ね実施することができた。</p>			
自己評価	概ね順調	判断理由	<p>学習塾との連携事業では、各校開催にしたことにより、参加人数が目標人数を大きく超え、国語・算数の2教科習熟度別の少人数指導が可能となり、全児童が意欲的に取り組むことができた。令和4年度は中止となった事業も多いが、学力向上や豊かな心の育成のため本事業をさらに充実させていく。</p>	

評価委員の所見への今後の対応状況

令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価における学識経験者からいただいたご意見に対する今後の対応状況については、以下のとおりです。

【教育指導推進事業】

評価・意見	対応・検討状況
<p>・学力向上を図る「学習塾との連携」事業、いじめ防止授業の実施、携帯・ネット利用ルールの作成。学ぶ楽しさ、夢や希望をもって将来を切り拓く児童生徒を育成する「八潮こども夢大学」「八潮こども防災マイスター」事業、キャリアパスポートによる小中一貫教育としてのキャリア教育等。「中学校海外派遣」「中学生社会体験チャレンジ事業」はコロナ禍のため実施できなかったが、たくさんの事業を計画・実施し成果を上げていることは高く評価できる。</p> <p>・学習塾との連携事業は、計画よりも91人多い参加者数で、各小学校で実施する等、改善が図られ効率よく進められた。その成果が全国学力学習状況調査に少しずつ現れている。今後は、具体的な成果の検証を行い、より効果的な事業になるように対応策を検討し継続していただきたい。</p> <p>・平成27年9月施行のいじめゼロ条例(通称)の周知といじめ防止授業の実施を継続したことで、いじめ解消率100%を達成したことは高く評価できる。</p> <p>・八潮こども夢大学事業は、参加人数の減少はみられるが、参加児童と保護者の感想では、発見や驚きがあり、キャリア教育の視点からとても効果のある事業である。実施方法(時期・回数・内容)の検討をして参加人数を増やせるようにしていただきたい。</p> <p>・八潮こども防災マイスター育成事業は、参加した児童生徒が自身の防災意識を高めるとともに自ら周囲に防災意識を高める働きかけができる場を提供することだと考える。参加者が増えることを期待する。</p> <p>・一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導・生活指導により人権意識が向上し、児童生徒に寄り添った支援をすることでいじめや不登校問題が少しでも減少することを願う。</p> <p>・ネット社会において、利用ルールについて自ら考える取り組みは継続的に行う必要があると思う。</p> <p>・不登校数が年々増加しており、マニュアルで対応しきれない部分が多いと思われる。不登校の理由も把握し、それぞれの児童生徒に対して寄り添った対応を進めてほしい。「いじめ発生率0%」を目指した今後の取り組みを期待する。</p> <p>・学力が向上しているのは素晴らしいと思う。中学で学習意欲が低下してしまう点にも重きを置き、学校、学年、クラスで差が出ないよう取り組んでいただきたい。</p>	<p>・学習塾連携事業や、いじめ防止授業、ネット利用のルールづくり、八潮こども夢大学、八潮こども防災マイスター、キャリア・パスポートの活用等については、引き続き力を入れて取り組むとともに、必要に応じて効果を検証しながら進めてまいります。</p> <p>・中学生海外派遣については、新型コロナウイルス流行前と実施条件が変わってきていることから、情報収集を行い、実施に向けた準備に努めてまいります。</p> <p>・中学生社会体験チャレンジ事業については、学校と連携し、実施を促してまいります。</p> <p>・全国学力・学習状況調査の結果については、改善傾向が見られるものの、目標には至っていないため、今後は成果の検証を行い、実施学年や実施教科などを再検討するとともに、教員の授業力向上を目指した取組の一層の充実を図ってまいります。</p> <p>・今後も引き続き「いじめ認知」のアンテナを高くするとともに、いじめ対策委員会や小中一貫教育こころ部会を中心とした取組の充実を図ることにより、いじめ解消率100%を目指してまいります。</p> <p>・実施方法(時期・回数・内容)についての見直しを行うことにより、夢大学が子供たちにとって魅力ある活動になるよう努めてまいります。また、各学校に協力を依頼しながら、広報や募集方法についても見直しを行ってまいります。</p> <p>・危機管理防災課と連携し、ブラッシュアップ研修への参加を促すとともに、避難訓練など、各学校での活用を働きかけてまいります。また、各学校に協力を依頼しながら、広報や募集方法についても見直しを行ってまいります。</p> <p>・不登校児童生徒への対応については、本市の大きな課題であるため、人権意識の向上に加え、学校内外における相談体制の充実や、不登校児童生徒の居場所づくり、学習保障体制の整備を進めてまいります。</p> <p>・ネット利用のルールづくり活動の授業プランを各学校に浸透させるとともに、小中一貫教育こころ部会でプランの見直しを行ってまいります。</p> <p>・不登校対応については、「不登校対策の手引き」の見直しを行い、関係機関と連携した対応の一層の充実を図ってまいります。さらに、学校と市教委が連携し、早期発見、早期対応、積極的な認知、些細ないじめを見逃さないこと、そして解消率100%を目標として取り組んでまいります。</p> <p>・八潮スタンダードに基づく授業改善により、知識・技能や思考力・判断力・表現力等の育成に偏ることなく、主体的に学習に取り組む態度を含めた3観点を意識した、魅力ある授業づくりを推進してまいります。</p>

Ⅲ 点検・評価の結果

大施策	次代を担う人づくり			
基本施策	学校ICT教育環境の充実			
事務事業名	学校ICT教育推進事業			
事業目的	学習系ICT機器等に係る経費の執行を行い、教育環境の充実を図る。			
事業概要	パソコン教室のパソコンリース料、GIGA端末リース料等の支出を行う。			
事業の実施状況	パソコン教室のパソコン等に係る学習系ICT機器の賃貸借契約及び管理等に関する業務を実施した。			
成果指標名		単位	目標	実績
1	GIGA端末整備率	%	100	100
2				
成果	<p>GIGA端末については、各校の創意工夫のもと授業に有効活用されており、授業支援ソフトを使用した動きのある授業、画面共有など児童生徒の回答に至る前の考え方の相互確認、コロナ禍などの状況下でのリモート授業など、新たな教育手段の実現が可能となった。</p> <p>今後もGIGA端末をはじめとする学校教育における情報機器を適切に維持管理するとともに、新たな情報技術等の動向に注意し、本市の学校教育におけるICTの活用を積極的に推進していく。</p>			
自己評価	概ね順調	判断理由	<p>学習系ICT機器等については、授業や活用に支障が生じることがないよう、適切に管理等を行うことができた。</p> <p>パソコン教室の活用等については、今後も学校と十分に連携等を図りながら、検討を行っていく。</p>	

評価委員の所見への今後の対応状況

令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価における学識経験者からいただいたご意見に対する今後の対応状況については、以下のとおりです。

【学校ICT教育推進事業】

評価・意見	対応・検討状況
<p>・GIGA端末整備台数とGIGA端末整備率の実績が計画・目標を達成し、学習系ICT機器に関する管理業務や経費の執行等、学習に係る業務を滞りなく執行し、ICTを活用した教育を推進した。また、莫大な予算と多大な責任を負っての業務をやり遂げていることは高く評価できる。</p> <p>・GIGA端末の導入に伴うパソコン教室の活用、学習系ICT機器の維持管理については、各小中学校の実態を踏まえて、各校と協議・連携を図りながら、効果的な運用ができることを期待する。使用頻度と維持費を考慮し、他自治体での先進的取組等を情報収集し、八潮市の児童生徒にとってより効果的なパソコン教室の在り方について早期に対応計画を立てる必要がある。</p> <p>・八潮市ICT活用サイトを立ち上げ、GIGAスクール通信を継続的に発行し、各種研修会の様子やPC活用のスキル向上、ICT部会の報告(八潮スタンダード×ICT)等、各小中学校の教員へタイムリーな情報提供を行っていることで、教員の意識改革が図られてきた。</p> <p>・学習ICT機器が授業等に支障なく適正に管理した点は評価する。使用率については各学校により差があると思うので、使用頻度を高める努力は必要かと思う。</p> <p>・各学校により今後必要となる機材等があると思われるので、他自治体を参考に考慮していくと良いと思う。</p> <p>・学びにICT機器を導入して学習をデジタル化していくのは、これからの時代に即したものであり、興味を持って取り組める子も増えていくと思うので、良い取り組みと感じる。</p> <p>・デジタル機器は日々進化しており、子ども達が興味を持つ活動も高性能機器を使えば実現できることが増えていくと思う。他自治体での先進的取組等も参考にしながら、検討を進めていただきたい。</p>	<p>・今後も適切な事業実施に努めてまいります。</p> <p>・各校におけるICT推進のキーパーソンとして小中一貫教育推進委員会のICT部会員を任命し、部会内で情報共有しており、今後も各校と連携した推進体制により、総合的なICT教育の推進に努めてまいります。また、パソコン教室についても、先進事例の収集などとともに、各校の個別の状況やSTEAM教育などへの発展性等を踏まえ、迅速に検討を進めてまいります。</p> <p>・ICT活用サイトについては、今後も継続的な情報発信に努めるとともに、ICT活用サイトをまだ知らない教職員の方に対しても、積極的に周知を行ってまいります。</p> <p>・各校のICT部会員の活動などを通じ、各校における偏りのないICT教育の実施に努めるとともに、教育委員会が主催する各種のICT研修を継続的に実施し、受講者数を増やしていくことで、教職員の基礎的なICT活用能力の底上げを図ってまいります。</p> <p>・各校に対するヒアリング等において、情報機器等に関する要望・希望もお聞きしており、可能な範囲で対応できるよう努めているところでございます。また、先進自治体や周辺の自治体の整備状況なども随時確認してまいります。</p> <p>・今後も適切な事業実施に努めてまいります。</p> <p>・GIGA端末以上の性能を有する高性能な情報機器の整備とその活用は、今後のパソコン教室の更新事業として実現していくことが適切であると捉えております。このため、先進自治体の状況等も参考に、本市におけるパソコン教室の更新事業について、積極的かつ具体的な検討を行ってまいります。</p>